

「世界の屋根」を歩いたイギリス人たち

日 時

2026年3月19日木 13:30-17:00

会 場

京都大学人文科学研究所
本館（総合研究4号館）4階大会議室

ZOOMウェビナー併用開催

- 会場参加（無料） 当日会場に直接お越しください
- 同時配信（Zoom） 要事前登録 下記二次元コードより登録してください

小 関 隆
こ せき たかし

稻 葉 穢
いな ば みのる

京都大学人文科学研究所 教授

京都大学人文科学研究所 教授

プログラム

第一部 稲葉 穢教授 13時30分～15時10分（コメンテーター：中西 竜也准教授）
脱走兵・考古学者・スパイ：アフガニスタンのチャールズ・マッソン
アフガン考古学のパイオニア、チャールズ・マッソンの謎に満ちた生涯とは？
イギリスはいかにしてグレート・ゲームのプレイヤーとなったのか？

第二部 小関 隆教授 15時20分～17時00分（コメンテーター：藤原 辰史教授）
西部戦線からヒマラヤへ：エヴェレストのジョージ・マロリー
なぜジョージ・マロリーは50に1つの可能性に賭けたのか？
エヴェレスト登攀とはなんだったのか？

主催：京都大学人文科学研究所



マッソン発見にかかるBimaranの黄金舎利容器(©The Trustee of the British Museum)

ZOOMウェビナー事前登録フォーム▶

https://zoom.us/webinar/register/WN_2F2W4CcFSEmf06eJLENGCg



お問い合わせ
京都大学人文科学研究所 総務掛
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
Tel. 075-753-6902（平日 9:00～17:00）
E-mail. zinbun_info@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

<https://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>



令和7年度 京都大学人文科学研究所退職記念講演会

「世界の屋根」を 歩いたイギリス人たち

今回の講演者、稻葉穰教授の専門はアフガニスタンの古代・中世史、小関隆教授の専門はイギリス・アイルランドの近現代史、時間にして1000年以上も、距離にして6000キロ近くも隔たっています。通常であれば、一緒に講演をする機会があつても、互いにそれぞれの専門の話をするだけに終わるでしょう。しかし、シャーロック・ホームズの相棒ワトソン博士が軍医としてアフガニスタンで従軍していたという有名なお話があるように、実はイギリスとアフガニスタンは近代において深く結びついており、またアフガン古代史研究がイギリスの介在によって本格化したのも間違ひありません。今回の退職記念講演会では、稻葉教授が時間的に、小関教授が地理的に歩み寄り、「世界の屋根」と「イギリス人たち」を共通項とします。険しい山岳地帯を舞台に活躍したマッソンとマロリーを題材にして、イギリスと南西アジアの近現代の一面を描き出そうというのが、長年にわたって人文研の学際的共同研究に従事してきた二人の教授の企てです。それがうまくいくかどうか、人文研ならではの顔合わせの講演会を愉しみながら、ご判断ください。



講師紹介



いな ば みのる
稻葉 穰 京都大学人文科学研究所 教授

新潟県生まれ

京都大学大学院文学研究科研究指導認定 京都大学博士（文学）

主要著書：『イスラームの東・中華の西』（臨川書店）

The History and Culture of Iran and Central Asia (Notre Dame University Press: 共編著)
『統治の書』（岩波書店: 共訳）など



こ せき たかし
小関 隆 京都大学人文科学研究所 教授

東京都生まれ

一橋大学大学院社会学研究科単位取得退学 社会学博士（一橋大学）

主要著書：『プリムローズ・リーグの時代：世紀転換期イギリスの保守主義』（岩波書店）

『アイルランド革命：第一次世界大戦と二つの国家の誕生』（岩波書店）

『イギリス1960年代：ビートルズからサッチャーへ』（中公新書）など

京都大学人文科学研究所

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL : 075-753-6902 (月～金 9:00～17:00)

Mail : zinbun_info@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※京大農学部前の信号を南側に渡る（または百万遍交差点から東に向かい最初の信号を右折）。
北門をくぐって最初の右側の建物です。

<https://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>

